

島根県の経済動向

平成24年1月分

統第106号の12
平成24年 3月28日

政策企画局統計調査課

—島根県の経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、 全体としては横ばい傾向にある—

生産活動は横ばい圏内の動きとなっている。雇用情勢は厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動きがみられる。個人消費は横ばい圏内の動きとなっている。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	⇒	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は98.3となり、前年同月比は▲1.6%と3か月連続で前年を下回った。大口電力需要実績は▲4.5%と2か月連続で前年を下回った。生産活動は、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	⇒	～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～	有効求人倍率は0.92倍と2か月連続で上昇、新規求人数は17.4%と18か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は4か月ぶりに前年を上回り、きまって支給する給与は13か月連続で前年を下回った。雇用情勢は、厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動きがみられる。
個人消費	⇒	～横ばい圏内の動き～	大型小売店販売額は2.2%と11か月ぶりに前年を上回り、ホームセンター販売額は0.7%と5か月連続で前年を上回ったが、家電量販店販売額は▲9.5%と6か月連続で前年を下回った。新車登録台数は25.7%と4か月連続で前年を上回った。個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。
投資動向	⇒	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は▲55.1%と3か月ぶりに前年を下回り、公共工事請負金額は▲4.6%と10か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は32.6%と2か月ぶりに前年を上回った。投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	⇒	～倒産件数1件～	企業倒産件数は1件。うち建設業は0件、製造業は0件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年1.6%増～	銀行預金残高は43か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は17か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年1.0%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.0となり、対前年同月比1.0%と3か月連続の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成24年3月28日公表）		CI先行指数は82.0となり、2か月連続の下降となった。 CI一致指数は98.0となり、3か月ぶりの上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成24年3月14日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（24年1～3月期）は▲29.8%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 〔先行きについては、翌期（4～6月期）に「上昇」超に転じ、翌々期（7～9月期）も「上昇」超で推移する見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		8月	9月	10月	11月	12月	1月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	94.7	91.4	95.3	92.0	93.0	98.3
	〃（原指数）	5.6	▲0.5	3.3	▲1.1	▲3.2	▲1.6
	大口電力需要実績	3.7	▲2.6	▲0.5	0.2	▲4.4	▲4.5
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.87	0.87	0.88	0.88	0.90	0.92
	新規求人数	9.9	4.4	13.1	1.7	18.2	17.4
	常用労働者数	1.2	1.9	1.5	1.5	1.6	1.0
	現金給与総額	▲1.1	0.7	▲0.5	▲0.9	▲0.9	0.8
	きまって支給する給与	▲0.8	▲0.1	▲0.2	▲0.6	▲0.9	▲0.8
	所定外労働時間（製造業）	▲3.7	▲1.4	6.0	9.9	6.3	▲17.4
個人消費	大型小売店販売額	▲3.9	▲4.3	▲3.1	▲3.5	▲4.2	2.2
	ホームセンター販売額	▲2.6	6.6	5.7	6.6	10.6	0.7
	家電量販店販売額	▲34.1	▲25.9	▲30.5	▲57.9	▲8.0	▲9.5
	乗用車新車登録台数	▲26.1	▲2.1	34.7	28.2	15.7	25.7
	出雲空港利用者数	▲18.5	▲15.0	4.7	▲1.8	3.3	▲0.8
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲22.8	▲29.4	▲43.2	20.5	3.5	▲55.1
	公共工事請負金額	▲11.9	▲5.7	▲12.2	▲9.6	▲24.9	▲4.6
	新設住宅着工戸数	▲30.6	15.6	1.9	139.4	▲3.3	32.6
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	4	5	7	4	1	1
	* 負債総額（百万円）	376	717	2,485	690	330	42
金融情勢	銀行預金残高	1.7	3.0	2.1	1.8	3.2	2.2
	銀行貸出金残高	1.0	2.3	1.2	1.9	2.1	1.6
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.2	100.0	99.9	99.9	99.9	100.0
そ の 他	* 景気動向指数（CI先行指数）	81.3	89.6	91.5	91.8	82.9	82.0
	* 景気動向指数（CI一致指数）	104.0	99.6	102.7	95.8	94.5	98.0

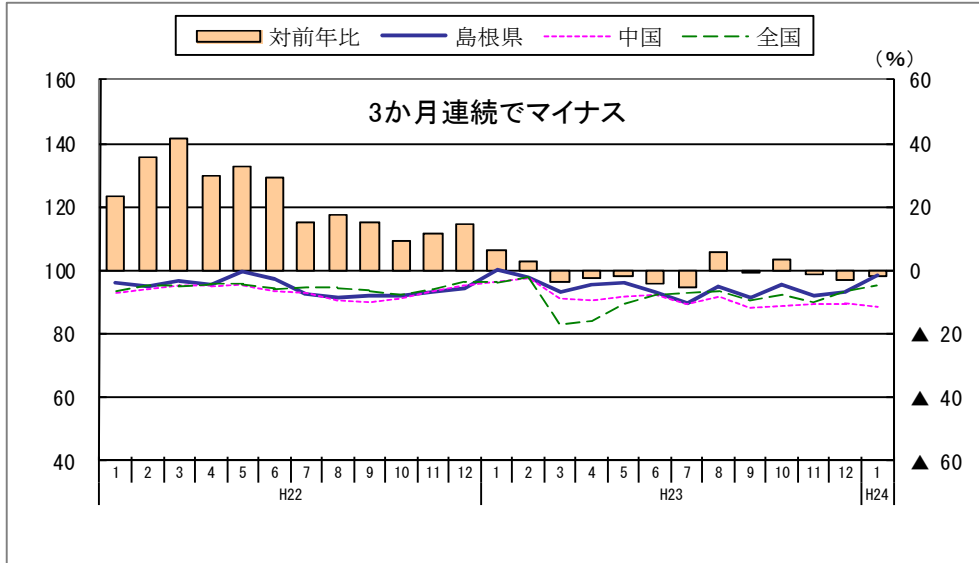
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成24年3月21日
	<p>景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、緩やかに持ち直している。輸出は、このところ弱含んでいる。 ・ 企業収益は、減少している。設備投資は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・ 企業の業況判断は、大企業製造業で低下しており、全体としても小幅改善となっている。先行きについても、全体として慎重な見方となっている。 ・ 雇用情勢は、持ち直しの動きもみられるものの、東日本大震災の影響もあり依然として厳しい。 ・ 個人消費は、底堅く推移している。 ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が確かなものとなることが期待される。ただし、欧州政府債務危機の影響や原油価格の上昇、これらを背景とした海外景気の下振れ等によって、我が国の景気が下押しされるリスクが存在する。また、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらには、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」平成24年3月15日
	<p>～ 横ばいながらも一部に弱い動き ～</p> <p>中国地域の経済は、生産は横ばい、個人消費がやや弱含みなど、横ばいながらも一部に弱い動き。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…横ばい 2. 景況感…足踏み 3. 産業用電力需要…減少 4. 物 価…上昇 5. 個人消費…やや弱含み 6. 設備投資…持ち直しの動き 7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加 8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き 9. 企業倒産…件数は増加 10. 貿 易…輸出は減少、輸入は増加
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」2012年2月29日
	<p>山陰両県の景気は、横ばい圏内の動きとなっている。すなわち、生産は、海外経済減速などの影響から、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、天候要因もあって横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、減少している。設備投資は、持ち直しつつある。住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。この間、雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、海外経済減速などの影響から、横ばい圏内の動きとなっている。 ・ 個人消費は、天候要因もあって横ばい圏内の動きとなっている。 ・ 設備投資は、持ち直しつつある。 ・ 公共投資は、減少している。 ・ 住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。 ・ 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にある。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」2012年2月29日
	<p>設備投資は回復しているものの、公共投資は低迷が続き、生産はやや弱含んでおり、総じて弱含みながら横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、全体としては依然低迷が続いている。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観12月）。 ・ 住宅建設は、増勢が鈍化している。 ・ 個人消費は、総じて低調な推移ながら一部で底入れの兆しがうかがえる。 ・ 生産は、業種間でばらつきがあるものの、やや弱含んでいる。 ・ 雇用情勢は、島根県は緩やかに回復している。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業では改善、非製造業では横ばいだったことから、全産業で改善となった(▲9→▲7)。先行き(12年3月)については、製造業、非製造業ともに悪化を予想しており、全産業で悪化(▲7→▲15)の見通し(日銀短観12月)。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成24年1月25日(四半期ごとに公表)
	<p>～おおむね横ばいとなっている～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 一部に弱い動きがみられる ・ 生産活動 おおむね横ばいとなっている ・ 雇用情勢 一部で緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている ・ 公共事業 前年度を下回っている ・ 設備投資 23年度は増加見込み ・ 企業収益 23年度は減益見込み

経済指標の推移

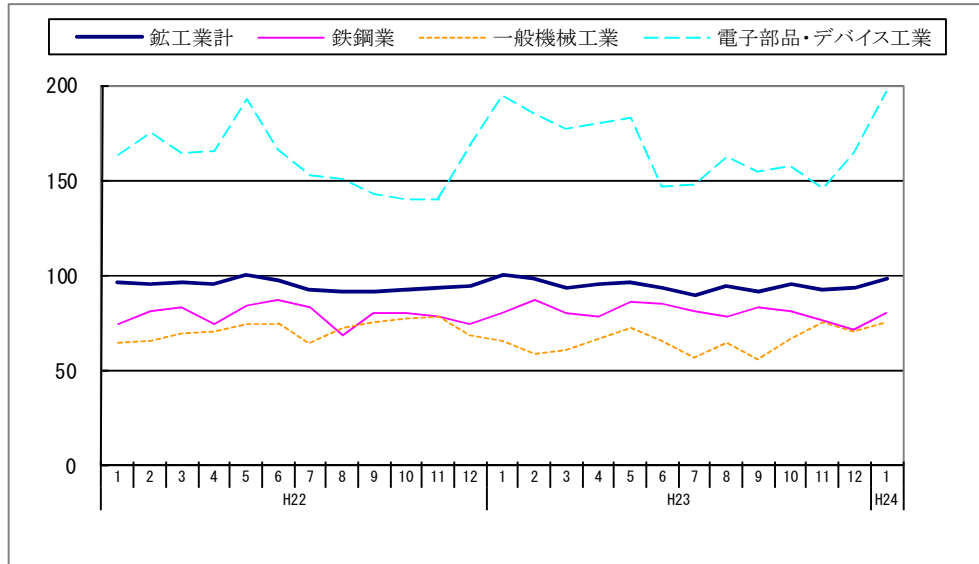
【生産活動】 ～横ばい圏内の動き～

鋳工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



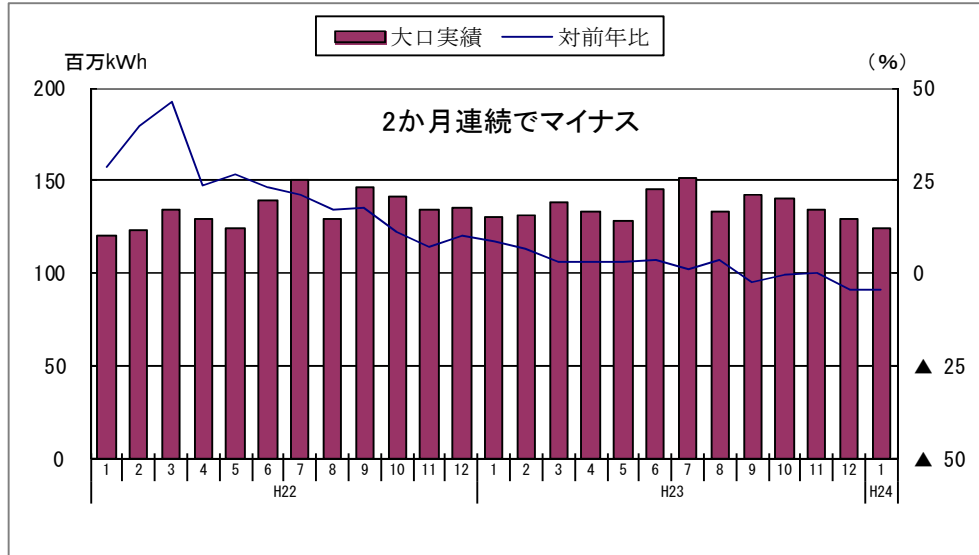
（注）対前年比は、島根県の実指数（県統計調査課、経済産業省）

島根県鋳工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

大口電力需要実績

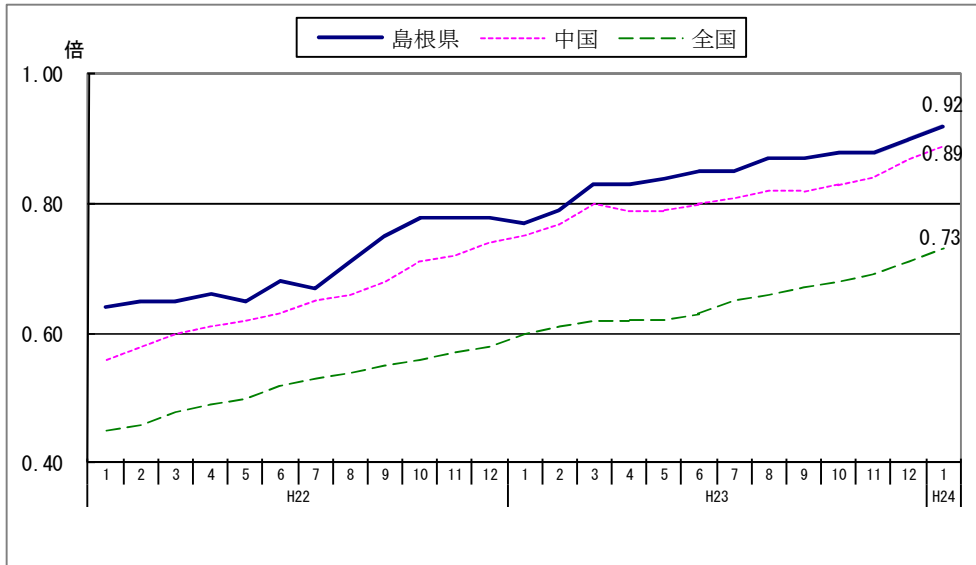


（中国電力株）

【雇用情勢】

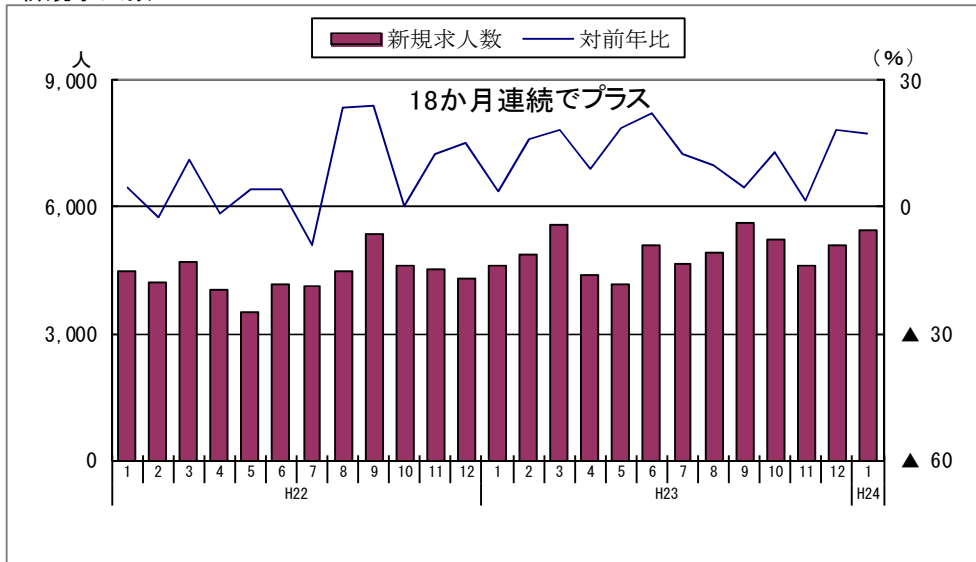
～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



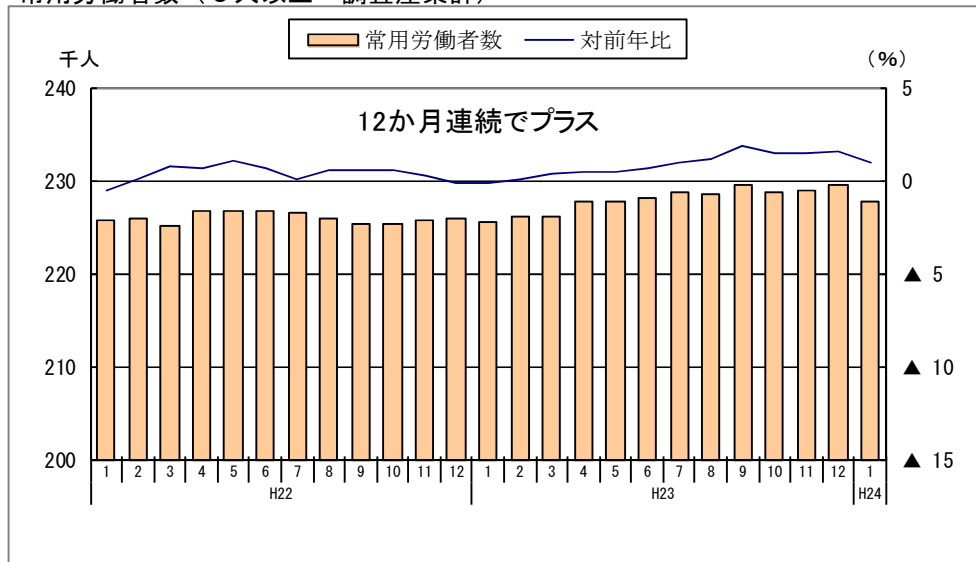
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

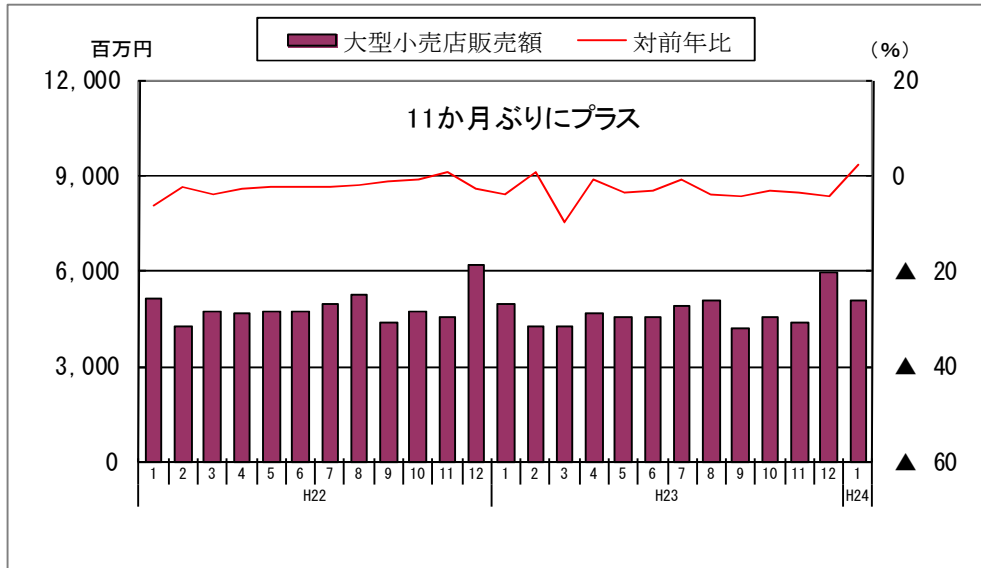
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

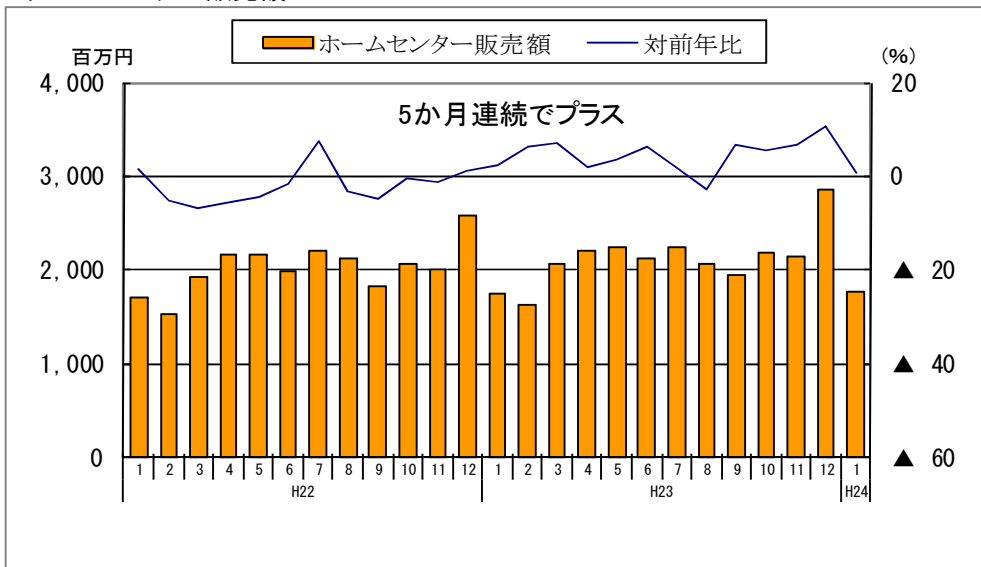
【 個人消費 】 ～横ばい圏内の動き～

大型小売店販売額



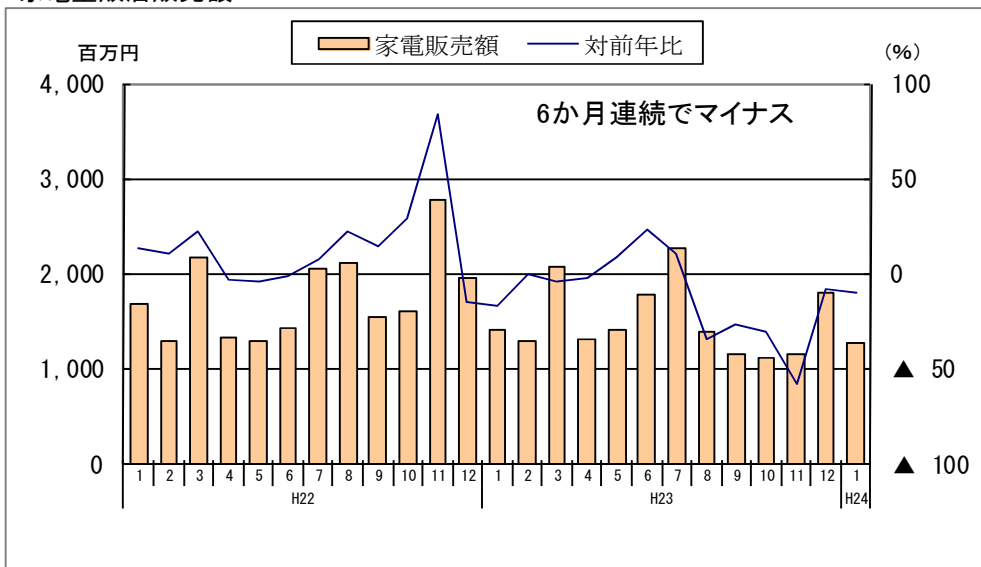
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

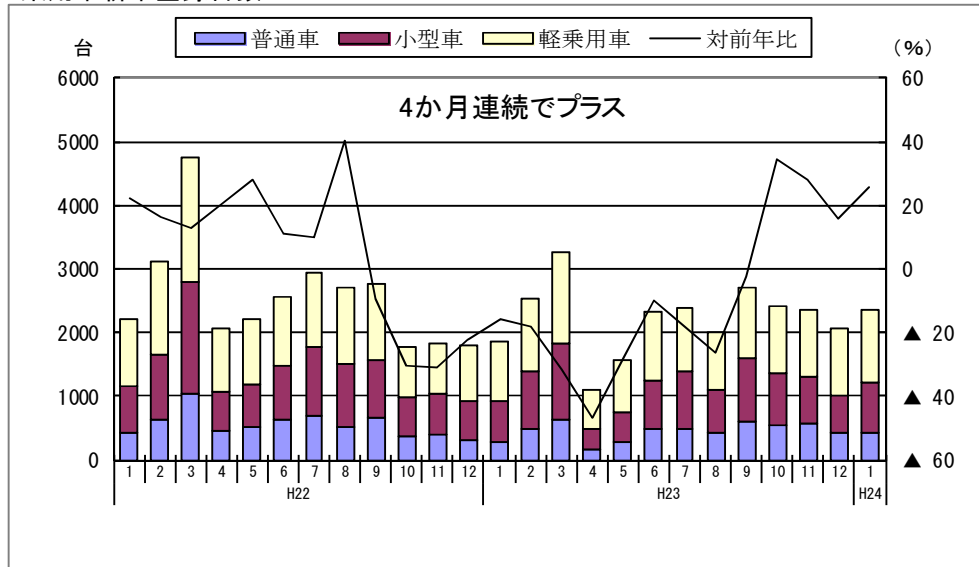
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

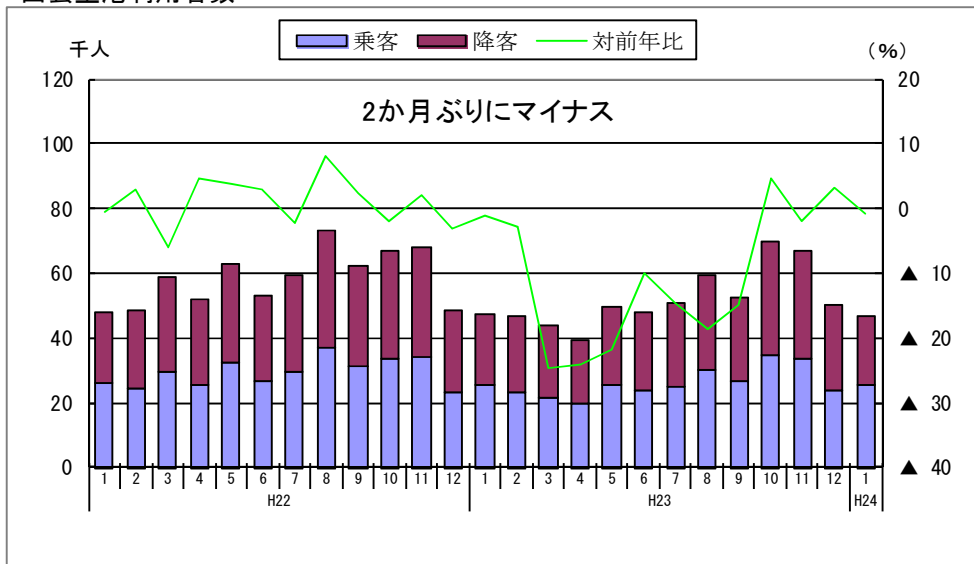
【 個人消費 】 ～横ばい圏内の動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

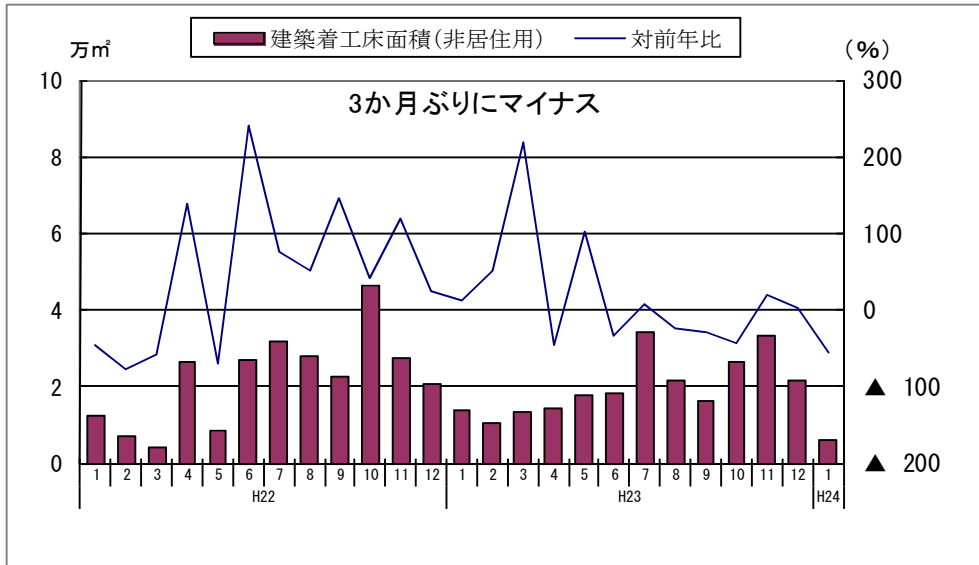
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

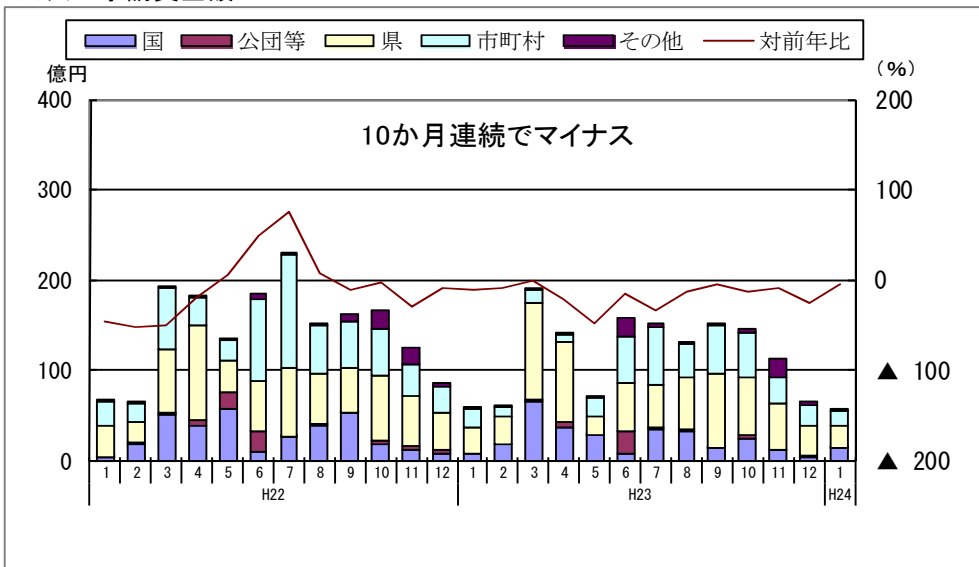
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



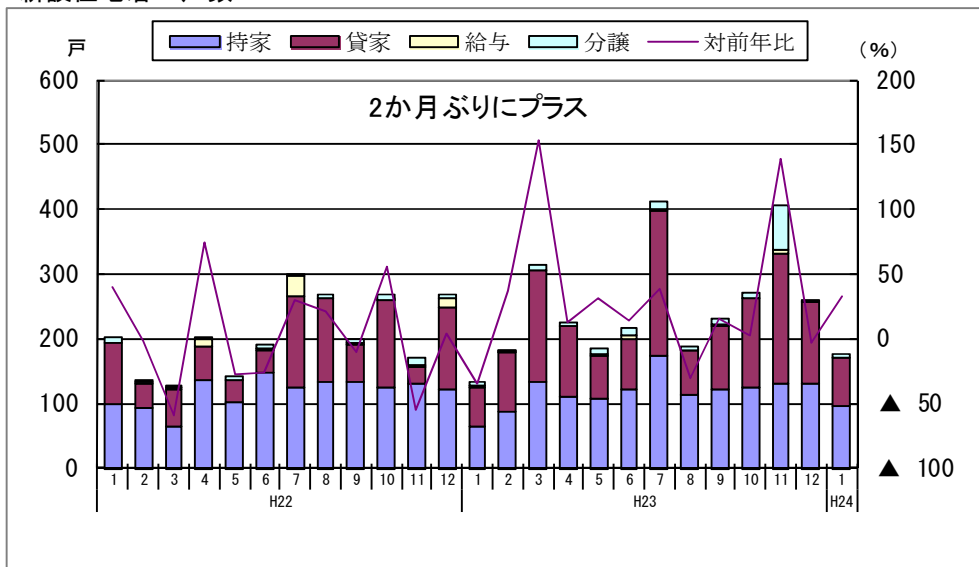
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

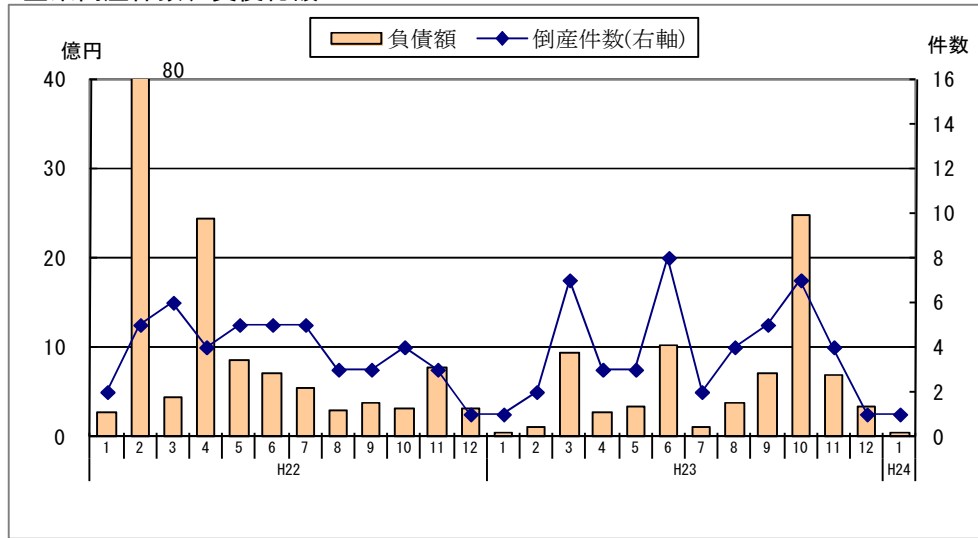
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 1 件～

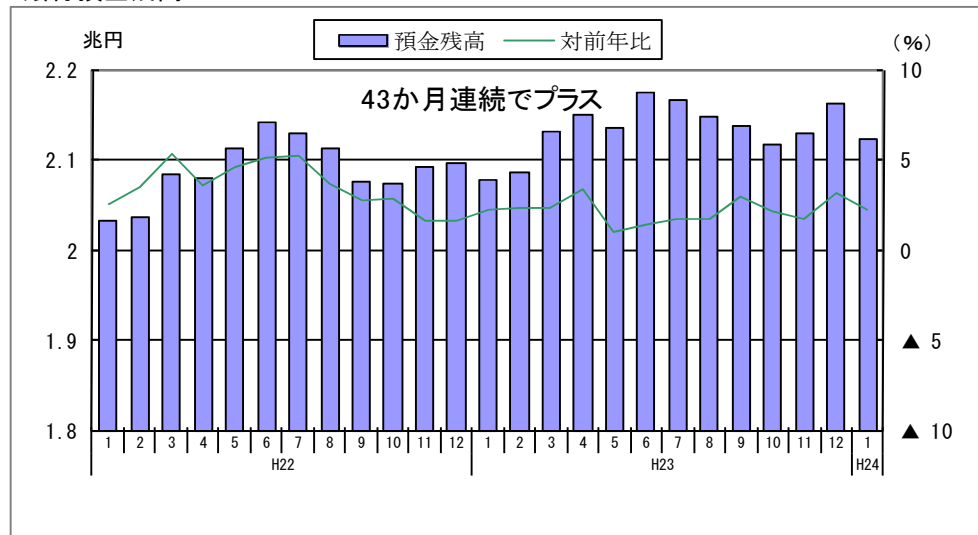
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

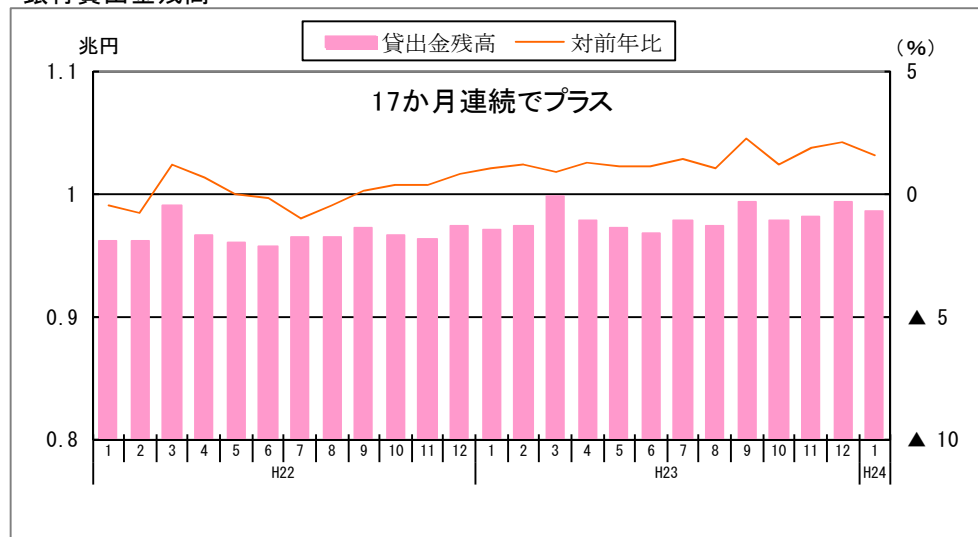
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年1.6%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

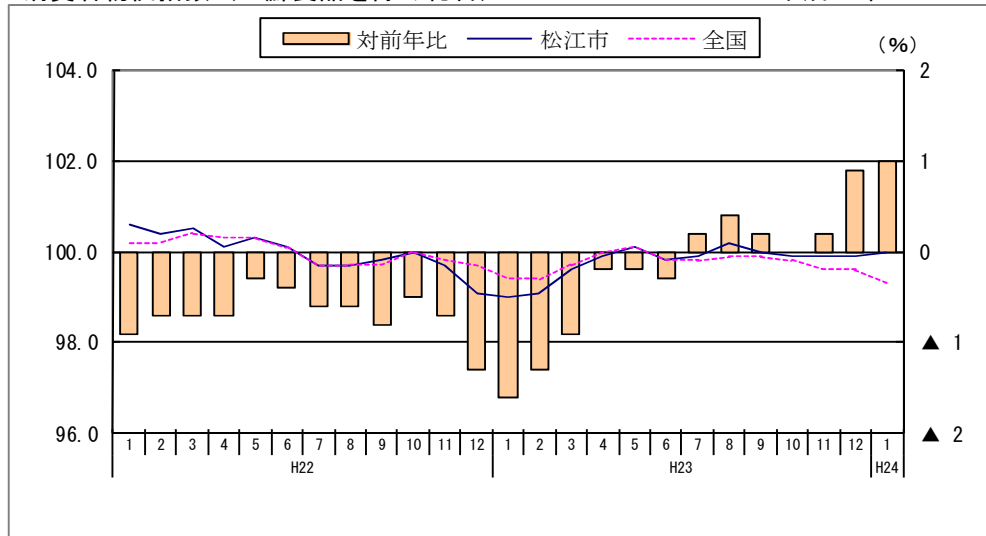


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年1.0%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

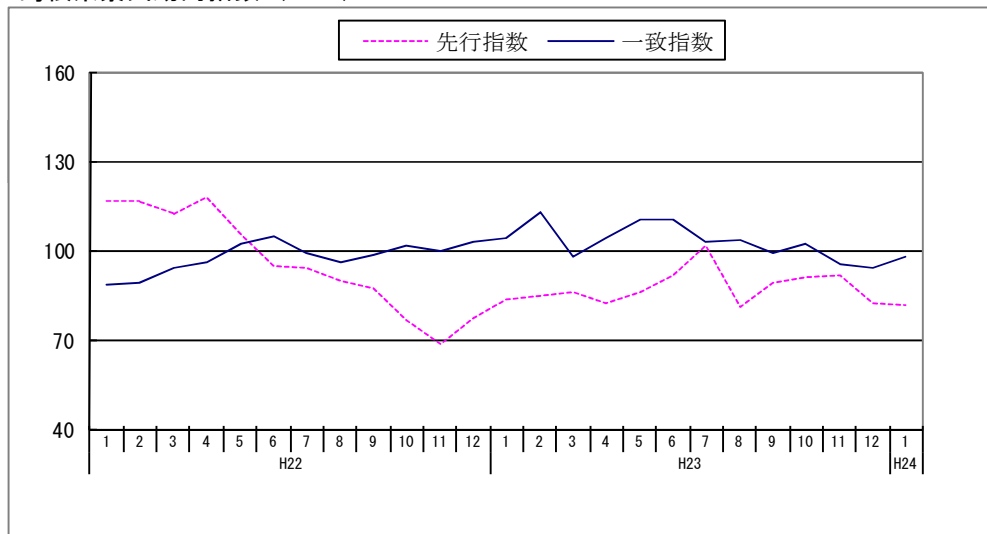
平成22年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成24年3月14日 財務省松江財務事務所)
平成24年1～3月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	23年10～12月 前回調査	24年1～3月 今回調査	24年4～6月 見 通 し	24年7～9月 見 通 し
全 産 業	▲ 3.9	(▲13.6) ▲ 29.8	(1.9) 1.0	10.6
製 造 業	▲ 5.9	(▲8.8) ▲ 61.8	(0.0) 0.0	17.6
非製造業	▲ 2.9	(▲15.9) ▲ 14.3	(2.9) 1.4	7.1
大 企 業	▲ 25.0	(12.5) ▲ 37.5	(▲12.5) 12.5	12.5
中堅企業	▲ 5.6	(▲19.4) ▲ 36.1	(16.7) 11.1	16.7
中小企業	0.0	(▲13.6) ▲ 25.0	(▲5.1) ▲ 6.7	6.7

※ () 書きは、前回 (23年10～12月期) 調査時の見通し。